取扱説明書

DAYTONA corp.
S79882 ①/⑨

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

NISSIN ラジアルブレーキマスターシリンダー	適応ハンドル	商品NO.
	Φ22.2 専用	P3 表参照

■ ご使用前に必ず、ご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行なっております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
接触禁止	表記の禁止行為を告げるものです。		

⚠警告

禁止

- この商品は安全にかかわる重要な部品です。取付けやエア抜き作業には高度な整備技術が必要です。整備に不備があった場合、制動力が確保できず、追突や転倒等、大怪我や死亡事故につながる危険がある為、指定/認証工場での取付けおよび分解整備を行なってください。上記の工場以外で取付け、分解整備をされた場合は道路運送車両法に基づいた対応をしてください。
- マスターシリンダーピストン径はご使用のキャリパーやブレーキシステムに合ったサイズをご使用ください。サイズを間違えると制動力が確保できず、追突や転倒等、大怪我や死亡事故につながる危険があります。
- この商品は二輪自動車用のブレーキマスターシリンダーとしてのみご使用してください。二輪自動車以外のブレーキマスターシリンダーとしては使用しないでください。
- レース等の過酷な条件下での使用は、保証対象外となります。
- ブレーキフルードを充填する前に、レバーを頻繁に動かさないでください。
- ブレーキフルードは当社製の品番 78024（別売品）等を使用するか、純正または他社製ブレーキフルード DOT4（グリコールエーテル系）をご使用ください。グリコールエーテル系以外（シリコン系等）のブレーキフルードは使用できませんのでご注意ください。

⚠注意

接触禁止

- ブレーキフルードの取り扱いについては十分注意してください。
  ブレーキフルードが皮膚に付着するとかぶれたり、肌荒れ等の症状がでる場合があります。皮膚に付着した場合、すみやかに水道水で洗い流してください。
  ブレーキフルードが目に入った場合は、だだちに作業を中止し水で十分に洗い流した後、専門医の診察を必ず受けてください。
  ブレーキフルードが塗装面等に付着すると塗装面が痛みます。万一付着した場合はすみやかに水道水で洗い流す、または脱脂洗浄剤等を使用して確実に取り除いてください。（脱脂洗浄剤等を使用する場合は、樹脂製部品やゴム部品に付着させないよう脱脂洗浄剤の取り扱い説明にしたがってください。）

2015/01/19

- 取付作業は必ず安全を確保し、車体を安定させた状態で行なってください。
- この商品は、外径Φ22.2 ハンドルバー専用です。
- 商品の取り付けに際しては取付車両のメーカーより発行されている、サービスマニュアルを参考に取り付けを行なってください。
- 取付車両のブレーキマスターシリンダーのピストン径をよく確認し、（純正ブレーキマスターシリンダーのボディに刻印があります。）必ず適合するピストンサイズを装着してください。φ19 は横型ブレーキマスターシリンダーのピストン径 5/8 に相当し、φ17 は横型ブレーキマスターシリンダーのピストン径 14mmに相当します。
- キャリパーを交換される場合は、そのキャリパーの指定ピストン径に従ってください。
- 取付作業を始める前に、この商品の仮装着を行い、レバーがコントロールスイッチ等へ接触しないこと、ハンドルを慎重に左右限界まで動かし、カウルやタンクに接触しないことや、ブレーキホースのバンジョー取り付け部の位置を必ず確認してください。
- この商品のバンジョーボルトの取出口は下側です。無理に曲げて取り付けしたブレーキホースの使用は大変危険です。バンジョー部分の角度や向きが合わない場合、車両や使用しているハンドルに合わせた適正なバンジョーフィッティングのブレーキホースへ交換が必要となる場合があります。
- ブレーキホースを取り付けする際、バンジョー部とブレーキスイッチを作動させるレバー部が接触しないよう、バンジョー部の向きに注意してください。レバー部が接触しますと、レバー曲りの原因となり不具合症状が発生しやすくなります。詳しくはこの取扱説明書の P4～P5 をご参照ください。
- この商品を取り付けする際、バンジョー部のガスケットは必ず新品と交換してください。
- 完全にエアが抜けるまで確実にエア抜き作業をしてください。適合サイズであってもタッチが出ない場合は、マスター、ホース、キャリパーの関連部品にエアが入っている可能性が高いです。特にキャリパー側のピストン付近やバンジョー部付近のエアが抜けにくいため、十分にエア抜きを行なってください。エアが残ったままだとブレーキが効かず、衝突、転倒等の大怪我や死亡事故につながる危険があります。

実施

- この商品と関連部品の取り付けには、トルクレンチを使用し所定トルクで適切に締付してください。
- 装着後は各ケーブル類の取り回し、作動は正常か、車体側へ挟まっていないか等を十分に確認してください。
- 通常走行を行なう前に必ず慣らし運転を行なってください。これは、今までとの制動力、レバータッチ等の違いをライダー自身に確認していただくものです。
- 走行前にレバーのアジャスト位置を必ず調整してください。車両によってはブレーキ液圧が十分に発生する前に、レバーがグリップに接触してしまう場合があります。レバーアジャスターの位置調整を確実に行ない、ブレーキ液圧が十分に発生し、レバーがグリップに接触しないレバー位置で必ずご使用ください。
- レバーの位置調整は必ず走行前に行ない、アジャストダイヤルの位置が正常かを確認し走行してください。ダイヤル調整が不十分な場合、ブレーキ操作中にレバー位置が動き大変危険です。
- マスターシリンダー内部には、消耗部品が組み込まれております。定期的な点検を必ず行ない、必要に応じてブレーキフルードの交換または補充を行なってください。
- ブレーキフルードは使用過程や放置状態でも、空気中の水分を吸収し劣化していきます。装着車両の取扱説明書にしたがい、２年ごとにブレーキフルードの交換作業を行なってください。
- 取り付け後約１００ｋｍ走行しましたら各部を点検してください。その後は約５００ｋｍ毎に必ず点検を行い、各部に異常がないか確認してください。また、走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検し正常に機能しない場合はご使用を中止してください。その後、指定/認証工場等へ連絡し、必ず点検を行なってください。
- 商品装着後、ブレーキフルード漏れが無いか定期的にチェックを行なってください。
- この商品の取り付け時や点検時に確認できたはずの不具合が、その後に発生し重大な事故や不具合へつながっても当社では一切の責任をおいません。

法令違反

- この商品は使用者本人もしくは指定/認証工場以外での取付け作業、分解整備は行なえません。道路運送車両法に基づいた対応をしてください。
- 取付車両のメーカーより発行されているサービスマニュアルに準じた方法で定期点検を必ず行なってください。

- 適合するピストンサイズであっても構造上の違いから交換前と同じブレーキタッチにならない場合があります。推奨適合サイズはあくまでも当社がお奨めしているものです。個人差、組合せによっては柔らかいレバータッチと感じる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ブレーキフルードを注入する前に、レバー操作を行なわないでください。
- ブレーキホースを組み付ける際、バンジョー部とレバー（ブレーキスイッチ部）を接触させない様、注意してください。（注意ステッカーが貼られています。）組み付け時に接触させますと、レバー曲りの原因となります。一度レバーを曲げてしまうと修正はできません。曲がったレバーでは、ピストンが押されたままの状態になり、ペーパーロック等の原因となり大変危険です。レバー曲りが発生した場合、速やかに新品の補修レバーへ交換してください。
- 純正等のゴムブレーキホースでは、ホースが膨張し正常な液圧をキャリパーまで伝えきれない場合があります。その場合、ステンレスメッシュホースへの交換をお勧めします。
- キャリパー側ピストンの動きが悪い場合、レバータッチに不具合がでる場合があります。キャリパーのメンテナンスを行ない、キャリパーピストンの動きを確認してください。
- マスターシリンダー径が適合した場合でも、取り付けを保証するものではありません。
- ABS 付車両へは、ABS が正常に作動しない可能性があるため取り付けできません。
- マスターシリンダーボディやレバー寸法（形状）が純正マスターシリンダーに比べて大きく変わるため、コントロールスイッチ等のハンドル周辺部品、またはフロントカウル（スクリーン）等に接触する場合があります。実際のエア抜き作業を行なう前に仮装着を行ない、ハンドルを左右に限界まで動かし、接触等が無いよう慎重に確認を行ない、各部位置調整を行なってください。（コントロールスチッチの位置調整には、ハンドルへの穴あけ加工が必要となる場合があります。）

その他

- フロントカウル付車両（スーパースポーツモデル等）で、フロントカウル（スクリーン）等にマスターシリンダーボディやレバーが接触する場合はご使用できません。
- ブレーキホースをダブルで組み込んだ際、バンジョー部やバンジョーボルトが車体に接触しないよう注意して確認してください。
- KAWASAKI 車等のスロットルワイヤーが下から出るスイッチボックスを採用した車両の場合、スロットルワイヤーとバンジョーボルトが接触しスイッチボックスが破損する可能性があります。市販品のハイスロキットとそれに合わせたスイッチボックスへの交換が必要となる場合があります。
- 車種によっては車体側のブレーキスイッチハーネスの加工が必要になります。
- バンジョーボルトのサイズは M10XP1.25 です。
- ミラー取り付け部は、M10XP1.25 の正ネジ（右ネジ）ミラー対応です。ＹＡＭＡＨＡ車に採用されている逆ネジ（左ネジ）タイプの純正ミラーは取り付けできません。市販品のアダプターまたは正ネジのバックミラー等を別途お買い求めください。
- リザーバータンク一体型ブレーキマスターシリンダーと比べ、リザーバータンクの位置が高く、場合によっては記載変更を指示される場合があります。その際には検査官の指示に従ってください。
- 補修パーツを使用する場合は、当社指定補修部品を必ずご使用ください。
- この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をする場合があります。また、文中にご紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

商品品番

品番	ボディ/レバー色	ピストンサイズ	品番	ボディ/レバー色	ピストンサイズ
79882	ブラック/クリアー	φ19（横型 5/8in 相当）	79886	ブラック/クリアー	φ17（横型 14mm相当）
79883	ブラック/ブラック		79887	ブラック/ブラック	
79884	ゴールド/クリアー		79888	ゴールド/クリアー	
79885	ゴールド/ブラック		79889	ゴールド/ブラック	

本商品の特徴

- NISSIN 社製のピストン縦型タンク別体式ラジアルブレーキマスターシリンダー。
- 六段階のレバー位置調整のアジャスターダイヤル付でフロントブレーキの操作性を向上させます。
- ブレーキスイッチ、ミラーホルダーが付属し、カスタムからリプレイスとして幅広くご使用可能です。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ	数量	NO	パーツ名	サイズ	数量
①	マスターシリンダーASSY	ピストンサイズは、商品品番内参照	1	④	フランジボルト（ブラック）	M6X20	2
②	ミラーホルダークランプ	ミラー取付穴 M10XP1.25	1	⑤	六角穴付ボルト（シルバー）	M6X15	1
③	タンクステー（シルバー）		1	⑥	六角ナット（シルバー）	M6	1

バンジョーフィッティングの注意

●ラジアルブレーキマスターシリンダーは、純正等の横型ブレーキマスターシリンダーと比べ、ブレーキホース取り出しの位置や、角度が異なるため、[ブレーキホースがハンドル（ハンドル周辺パーツ)、フロントフォーク等に干渉][ブレーキレバーとバンジョーフィッティングと干渉]等の症状が発生するため、ほとんどの場合ブレーキホースの交換が必要となります。お取り付け車両のハンドル形状と下記の記載事項を参考にブレーキホースの長さと適正な角度のバンジョーフィッティングをお選びください。

●純正等のブレーキホースをご使用される場合、当社製ブレーキホースエクステンション（別売品）を併せてご使用ください。

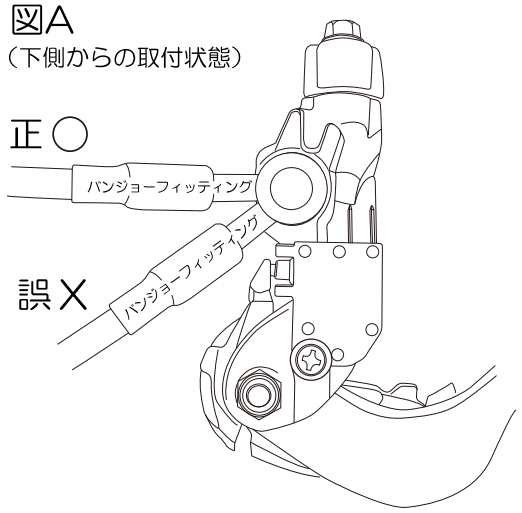
※無理に曲げたブレーキホース、または短いブレーキホースは走行中大変危険です。慎重にバンジョーフィッティングの角度とホース長を選択してください。

1.バンジョーフィッティングを（図A）の（正○）方向に来るよう仮組みしてください。（図Aは下側から見た取り付け状態図です。）

2.軽い力で慎重にレバーをゆっくりと握り、（図B）の様なレバーの接触が無い事を確認し、バンジョーボルトを規定トルクで締め付け、バンジョーフィッティングを確実に固定してください。

※.バンジョーボルト：M10XP1.25
（締付トルク 25～30N・m）

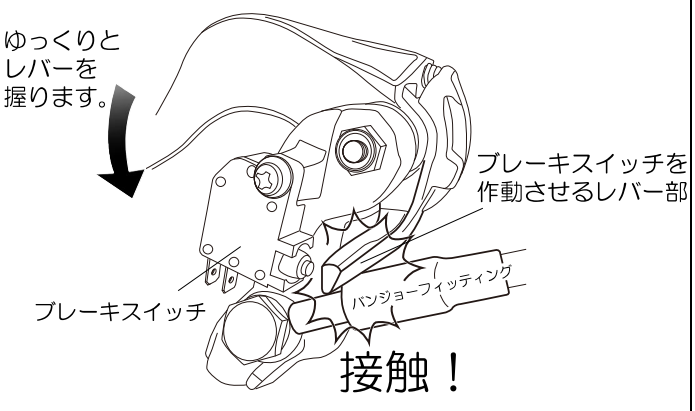
図A
（下側からの取付状態）



3.図 A の（誤 X）方向にバンジョーフィッティングを取り付けしますと（図 B）の様にレバー操作の際、ブレーキスイッチを作動させるレバー部とバンジョーフィッティングが接触し、そのまま握り込みますと次ページ（図 C）の（誤 X）様にレバーが内側に変形します。

4.次ページ（図 C）の（誤 X）のレバー状態で使用しますと、レバーが正規の位置まで戻らないため、エアが抜けない、ブレーキの引きずり、最悪の場合、走行中にブレーキがロックし、転倒や重大な事故やケガにつながります。

図B
（下側からの取付状態）



⚠注意

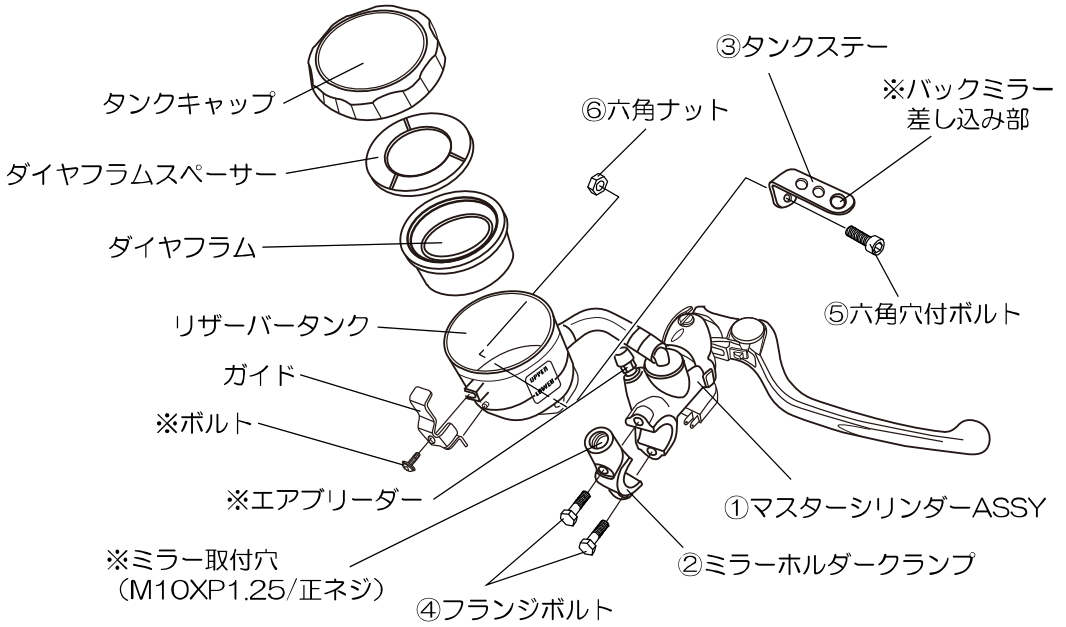
取付時のブレーキレバーとバンジョーフィッティングの接触は、ブレーキレバーの変形を容易に引き起こします。ブレーキレバーに打痕のある場合は外観上に問題が無くともブレーキレバーは変形しています。一度レバーを曲げてしまうと修正はできません。レバー曲りが発生した場合、速やかに新品の補修レバーへ交換してください。
（ブレーキレバーの曲りや変形は保証対象外です。）
またレバーを操作しても、P④図Bの様に接触がないよう、バンジョーフィッティングの取り付けは確実に行ってください。

図C
（レバーを取り外した状態）

取付方法

※　全ての作業は、道路運送車両法に基づいた対応を行なってください。
※　取り付け作業をはじめる前に仮装着を行ない、マスターシリンダーボディやレバーが車体へ接触しない事を必ず確認してください。

1．純正ブレーキマスターシリンダー内やブレーキホース内のフルードを抜いてください。
2．純正ブレーキマスターシリンダーから、バックミラー、ブレーキスイッチハーネスの接続を外します。
3．純正ブレーキマスターシリンダーから、バンジョーボルト、ガスケットを外し、ブレーキホースを外します。
4．純正ブレーキマスターシリンダーの取り付けボルトを外し、車体から取り外します。
（純正マスターシリンダーのフルードは必ず抜いてから保管してください。）
5．①マスターシリンダーASSY を②ミラーホルダークランプ、④フランジボルト（M6×20）でハンドルバーに取り付けし、ブレーキスイッチハーネスを接続します。
※．②ミラーホルダークランプを取り付ける際は、２本の④フランジボルトの上側のボルト（UP▲）を先に規定トルク（9～12N・m）で締め付けてから角度を調整した後に下側ボルトを締め付けてください。上下均等に締めるとホルダーが締まりきらなかったり、折れたりする場合がありますので必ず順序を守って締め付けてください。
（オーバートルク（締めすぎ）による、②ミラーホルダークランプの折れ等の破損は保証対象外です）
6．⑤六角穴付ボルト（M6X15）、⑥六角ナット（M6）を使用して、③タンクステーをリザーバータンクへ取り付けます。
7．②ミラーホルダークランプに③タンクステーを挟んで、バックミラーを取り付けます。
※．純正ミラーがカウルに装着された車両の場合、別売のミラー穴埋めボタンボルト（70939 または 70921）を使用して、③タンクステーを②ミラーホルダークランプに取り付けしてください。



８．新品のガスケットとバンジョーボルト（M10XP1.25）を使用し、適正なバンジョーフィッティングのブレーキホースを取り付けます。

※．バンジョーボルト締め付けトルク：25～30N・m

９．リザーバータンクから、ボルトを外しガイドを取り外します。タンクキャップ、ダイヤフラムスペーサー、ダイヤフラム等を取り外し、リザーバータンクにブレーキフルードを注ぎエア抜きを行ないます。レバーを何度かストロークさせたりして、①マスターシリンダーＡＳＳＹ内のエアをリザーバータンク側へ逃がしてください。

※．ブレーキフルードは当社製の品番 78024（別売品）等を使用するか、純正または他社製ブレーキフルード DOT4（グリコールエーテル系）をご使用ください。グリコールエーテル系以外（シリコン系等）のブレーキフルードは使用できませんのでご注意ください。

１０．レバーに多少タッチが出るまで行ない、取付車両のサービスマニュアルに従ってキャリパー側よりエア抜き作業を行ないます。メーカー指定のフルード交換ツールを使用いただくか、当社別売品：ブレーキフルード交換ツール〔品番 71123〕やブレーキエア抜きセット〔品番 61825〕等のご使用をお勧めします。その後①マスターシリンダーASSY のエアブリーダー部からも同様にエア抜き作業を行なってください。（レバータッチが確実に出るまでこの作業を繰り返します。）

※．エアブリーダー締め付けトルク：4～7N・m

※．エアが抜けにくい場合は、リザーバータンクから抜けやすい様に①マスターシリンダーASSY の取り付け角度を変更することで、抜けやすくなる場合があります。

※．上記作業でもエアが完全に抜けきらない場合はキャリパーに直接ブレーキフルードを押し込む、又は吸い出すタイプの特殊工具を使用し、エアを完全に抜いてください。

１１．エア抜き作業終了後、リザーバータンク内の油面調整を行ない、ダイヤフラム、ダイヤフラムスペーサー、タンクキャップを取り付け、ガイドを取り付けしてください。レバーを何度かストロークさせた後、レバータッチの確認、ブレーキの効きの確認を必ず行なってください。

※．タンクキャップを強く締めすぎたり、ブレーキフルードを入れすぎると、ブレーキが正常に機能しない場合がありますので注意してください。

１２．①マスターシリンダーASSY、キャリパー、またその他の場所でブレーキフルードが付着している部分をブレーキクリーナーなどで脱脂してください。また、エアブリーダーねじ穴部にもブレーキフルードが残りやすいためマスターシリンダー側とキャリパー側を入念に脱脂をしてください。（ブレーキフルードは、塗装を傷める恐れがありますので、完全に取り除いてください。ブレーキフルードが残りやすい部分は、入念に脱脂をしてください。）

※．エアブリーダーねじ穴部にブレーキフルードが残っている場合、ブレーキフルードがにじみ出てくる症状が発生します。

１３．ブレーキ操作を行ない、ブレーキランプが点灯する事を確認します。

１４．最後にブレーキレバーを強く握った状態で、レバー位置が変化しない事、ブレーキホース、バンジョー取付部分等からフルード漏れ等のない事、ハンドルを左右に限界まで動かしそれぞれブレーキ操作を行ない不具合が無いことをご確認してください。

１５．各部を点検し、異常が無ければ作業は終了です。

⚠注意

エア抜き作業は、マスターシリンダーの状態のみならず、関連するブレーキ部品の具合によってエアが抜けにくい事があります。 （キャリパー側のメンテナンスが併せて必要な場合があります。）
キャリパーの場合４ＰＯＴよりも６ＰＯＴが構造的にエアが抜けにくい傾向がありますが、手順を理解した作業を行なえば、手間はかかりますがエアは必ず抜けます。一連の作業でブレーキフルードを大量に使う場合も当然考えられますが、関連する 部品のエア抜き（安全の為）には必要不可欠ですので、手間を惜しまず確実な作業を行なってください。

別売指定補修部品

品番	品名	価格（税抜）	詳細
90984	リペアピストンΦ19	¥3,400	79882/79883/79884/79885専用。
90985	リペアピストンΦ17	¥3,400	79886/79887/79888/79889専用。
79890	ブレーキスイッチASSY	¥1,850	防滴スイッチ（取り付けボルト付属）
49564	ブレーキレバーASSY（バフクリア）	¥4,800	
49565	ブレーキレバーASSY（ブラック）	¥4,800	
24341	タンクステー	¥800	シルバー
42428	コネクターSET	¥1,000	タンクホース接続コネクター/Oリング/クリップ/ラバーブーツのSET。
90983	タンクSET	¥2,300	タンクASSY/タンクホース/クランプ X2のSET。
77865	タンクホース単体	¥1,100	ラジアルクラッチマスター共通部品。クランプ X2付き。
36206	ミラーホルダークランプ（ブラック）	¥1,500	ミラー取り付け部（M10XP1.25/正ネジ）
36207	ミラーホルダークランプ（ゴールド）	¥1,500	ミラー取り付け部（M10XP1.25/正ネジ）
36211	ボルト&ナット（シルバー）	¥150	タンク取り付け用
66308	エアブリーダー単体	¥700	ネジピッチ（M8X1.25）※ゴムキャップは付属しません。

別売 OPTION 品

品番	品名	価格（税抜）	詳細
68758	ブレーキホースエクステンション（クリア）	¥2,800	ホース長100mm
75199	ブレーキホースエクステンション（ブラック）	¥2,800	ホース長100mm
70040	アルミ削り出しアジャストレバー（クリア）	¥9,500	DAYTONAオリジナル約-15mmのショートレバーとなります。
70041	アルミ削り出しアジャストレバー（ブラック）	¥9,500	DAYTONAオリジナル約-15mmのショートレバーとなります。
78709	ショートレバー（バフクリア）	¥5,600	NISSIN製　約-25mmのショートレバー。
78710	ショートレバー（ブラック）	¥5,600	NISSIN製　約-25mmのショートレバー。
43099	クランプホルダー（ブラック）	¥1,200	ミラー取り付け穴無し
43101	クランプホルダー（ゴールド）	¥1,200	ミラー取り付け穴無し
30895	タンクステー（ブラック）	¥800	補修部品24341の色違い。
49151	セパレートハンドル用タンクステー（ブラック）	¥800	タンク角度を10度起こす専用品。
70939	ミラー穴埋めボタンボルト（シルバー）	¥400	
70921	ミラー穴埋めボタンボルト（ブラック）	¥400	
33824	ステンレスエアブリーダー	¥1,400	ネジピッチ（M8X1.25）※ゴムキャップは付属しません。

■トラブルシューティング■

①エアーが抜けない。

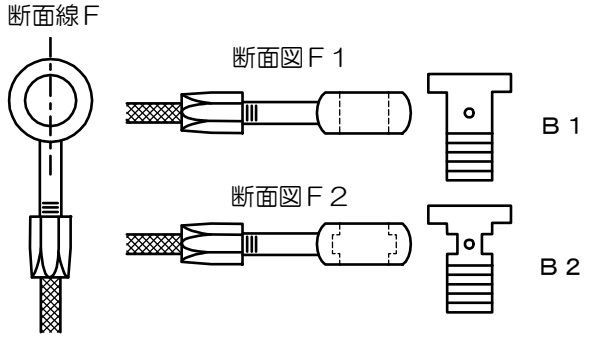
・マスターシリンダーは機能していますか？

ブレーキホース未接続の状態で、マスターシリンダーASSY のリザーバータンクにブレーキフルードを入れ、バンジョーボルトの取付部を指で押さえます。レバーを握るときは指を離し、穴を開放します。レバーを戻すときは指で穴をふさぎます。エア抜きをする感覚でこの作業を繰り返し、ブレーキフルードが出てこなければマスターシリンダー本体に問題が有ります。

・ブレーキホースの取りまわし、オイルラインは正常に通っていますか？

ブレーキ（クラッチ）ホース、バンジョーボルトなどのオイルラインが正常に通っていないと、ブレーキフルードが行き渡りにくく、エアーも抜けにくい状態となります。長すぎるホースを使用している、またはホースが無理に曲がっている等を点検し、ブレーキホースの取り回しを見直してください。

バンジョーボルトとブレーキホースの組み合わせにも注意が必要です。（下図参照）



※．F1 と B1 の組み合わせの場合、オイル通路が狭くなってしまうため、F2 形状のブレーキホースをご使用いただくか、B2 形状のバンジョーボルトをご使用ください。

・エアブリーダーボルトが錆びたり、変形したりしてオイル通路をふさいでいませんか？
キャリパー側のエアブリーダーを取り外して確認してください。オイルの通路をふさぐ原因となるエアブリーダーの錆び、オーバートルクによる変形がみられる場合は、直ちに交換してください。（エアブリーダー締め付けトルク：4～7N・m）

②マスターシリンダーASSY のエアブリーダー部のフルードのにじみ。

・オーバートルクで内部がつぶれていませんか？
エアブリーダー締め付けトルク：4～7N・mです。これ以上に締付を行なうとエアブリーダーの先端や、マスターシリンダーASSY の取り付け部が変形し、フルード漏れの原因となります。エアブリーダーを取り外し、点検してください。

・フルードの洗浄作業は確実に行ないましたか？
マスターシリンダーの構造上、エアブリーダーの内部やその周りのネジ山部にはフルードが残りやすくなっております。エアブリーダーを締め付けた状態で、エアーツール等を使用しエアーを吹き込み、エアブリーダー内部やネジ山部に残ったフルードを入念に取り除いてください。（キャリパー側も同様です。）
※．洗浄が不十分な場合、時間がたつとエアブリーダー取り付け部より、フルードがにじむことがあります。

③レバータッチがかたい、またはやわらかい。

・推奨のピストンサイズをご使用ですか？
Φ19 は横型 5/8 インチ、Φ17 は横型 14mmに相当します。装着されていたマスターシリンダーと推奨ピストンサイズが異なる場合、ラジアルブレーキマスターシリンダーの性能が発揮できないためご使用できません。（保証対象外）
装着されていたマスターシリンダーに対し、ピストンサイズが大きい物を装着した場合、レバータッチがかたくなります。またピストンサイズが小さい物を装着した場合は、レバータッチがやわらかくなります。交換前に装着されていたマスターシリンダーとラジアルマスターシリンダーのピストンサイズを比較してください。（ボディの裏側に刻印があります。Φ19 は 3/4 の刻印、Φ17 は 11/16 の刻印です。）

例１．純正等の装着されていたマスターシリンダーより、ピストン径が大きいラジアルブレーキマスターを装着した場合。
（純正 11mm ＜ ラジアルブレーキマスターφ17（横型 14mm推奨）
レバーの稼働量が少なく、レバータッチが固くガチガチしたブレーキフィーリングとなります。ブレーキを作動させられるがレバーが十分ににぎれず、必要な制動力を得られない可能性があります。また少しのレバー操作で制動力が急激に高まり、ロックしてしまう場合があります。

例２．純正等の装着されていたマスターシリンダーより、ピストン径が小さいラジアルブレーキマスターを装着した場合。
（純正 5/8in（15.8mm） ＞ ラジアルブレーキマスターφ17（横型 14mm推奨）
レバーの稼働量が多きくなりレバータッチがやわらかくなります。エア抜き完了後もエアが混入している感覚が残るフィーリングです。ブレーキを作動させられるが、十分な制動力を得られる前にレバーがグリップタッチしてしまいそれ以上の制動力を得られない可能性があります。

※車両個々の状態や組み合わせて使用する一連のブレーキシステムによっては、上記の例 1/2 以外の症状が発生する可能性があります。

・キャリパー側の推奨サイズを選んでいますか？
キャリパーを交換されている場合、交換したキャリパー側の推奨ピストンサイズをお選びください。

・ピストンサイズ違いのブレーキマスターが装着されていませんでしたか？
中古で車両をご購入された場合、キャリパーは純正であっても、ブレーキマスターが純正とは異なるサイズの物に交換されていた、またはキャリパーが交換されていたという場合もあります。キャリパーまたはブレーキマスターがお取り付け車両の純正部品かを確認してください。

・キャリパーのピストンは正常に作動していますか？
エア抜き終了後もレバータッチがやわらかい場合、キャリパー側のピストンが正常に動いていない場合があります。横型マスターでは感じにくかったキャリパー側の不具合も顕著にレバータッチに影響してくる場合があるため、キャリパー側のメンテナンスが併せて必要となる場合があります。

・ブレーキホースはゴム製ですか？
純正等のゴム製ブレーキホースは、ブレーキホース自体が膨張し、発生した液圧を逃がしてしまう症状が出る場合があります。正常な液圧をキャリパーまで伝えきれないため、レバータッチがやわらかく感じやすくなります。ステンレスメッシュホースへの交換をおすすめいたします。

・エアーの混入はありませんか？
ブレーキ関係の交換の際は、交換したブレーキマスターASSY 以外の部分にもエアーが混入してしまいます。ホース等の連結部、キャリパーピストン部等ブレーキシステム全体の状態を見直し、確実にエア抜き作業を行なってください。

・レバー形状が横型マスターと大きく異なります。
レバー形状と、レバー比が横型マスターと異なるため、レバータッチは若干やわらかく感じる場合があります。

・レバーがグリップタッチしてしまう。
レバー形状が横型と大きく異なるため、車種によってはグリップタッチする症状が出る場合があります。レバー位置調整を行ない、グリップタッチしない位置でご使用ください。またはエアー混入等の上記一連の項目を再度ご確認ください。

④ブレーキの引きずり。

・リザーバータンク内のフルードがＵＰＰＥＲレベルを超えていませんか？
フルードの入れすぎで、レバーを戻した状態でもフルードがリザーバータンク内に戻りきらない場合、キャリパー側のピストンもセット位置まで戻りません。リザーバータンク内のフルード量を確認してください。

・マスターシリンダー以外のブレーキ関連部品は正常ですか？
キャリパー側のピストンの動きが悪い。ブレーキパッドの摩耗状態。ディスクローターの変形等が考えられます。ブレーキシステム全体を点検してください。

・レバーの曲がりはありませんか？（本取扱説明書内Ｐ4～5 に注意事項記載）
本取扱説明書（Ｐ4～5）記載のレバー曲がり、またはレバーに打痕がある場合、ブレーキレバーが完全に戻りきらず、ピストンを少し押している状態となります。（Ｐ4～5）の注意事項をご確認いただきレバーを点検してください。

⑤走行時レバー操作無しでブレーキが効いてしまう。

・レバーの曲がりはありませんか？（本取扱説明書内Ｐ4～5 に注意事項記載）
本取扱説明書（Ｐ4～5）記載のレバー曲がり、またはレバーに打痕がある場合、ブレーキレバーが完全に戻りきらず、ピストンを少し押している状態となります。この状態で走行しブレーキホース内に熱が発生し膨張したフルードがタンク内に戻れずキャリパーピストンを作動させてしまいます。レバーを当社指定補修部品へ交換してください。

・レバーを交換していませんか？
当社指定補修部品またはオプション品以外のレバーを使用している場合、レバー曲がりがなくても上記と同様な症状が発生する場合があります。当社指定補修部品のレバーには NISSIN の刻印があります。ご使用のレバーをご確認ください。

⑥ブレーキランプが作動しない。

・ブレーキスイッチのハーネスは接続していますか？
付属のブレーキスイッチは、2 極の平端子です。車種によっては接続に加工が必要となる場合があります。ハーネス接続を確認してください。接続にハーネス加工を行なった場合、加工部分の導通を併せてご確認ください。ハーネス類に異常が無ければスイッチ、またはテールランプのバルブ等を点検し、異常があれば交換してください。

⑦レバー操作中にレバー位置が変わってしまう。

・アジャスターのダイヤル調整は確実に行なえていますか？
レバーを前方向にかるく動かし、位置調整のアジャスターを回転させレバー位置を調整します。この時アジャスター側の接触面とレバー側の接触面が付いている事を確認してください。調整したアジャスターの位置を示す数字がレバー側の▲位置に来るようにしてください。アジャスターとレバーの接触面が面接触していない不十分な調整を行なった場合、レバー操作時にアジャスターがいずれかの方向に回り、レバー位置が動いてしまいます。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで